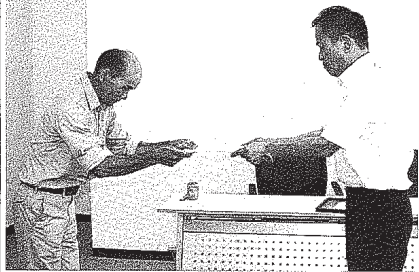


16社に認定証交付

認定工場審査結果報告会



認定工場16社に対して花澤理事長が認定証を交付

「技術水準を下げないことが組合の信用につながる」とあいさつする花澤理事長



「技術水準を下げないことが組合の信用につながる」とあいさつする花澤理事長

同計画は、①里地や水辺が織りなす豊かな景観づくり②成田の歴史文化を継承する景観づくり③世界につながるNARITAを訪れる人をもてなす景観づくり④市民の住むところの誇りと愛着を育む景観づくりの4つを柱に、市の資源を活かし、市民、事業者、行政の共通認識を育みながら進めていく。

この基本方針に基づき、地域ごとの景観特性により、景観ゾーン、景観拠点及び景観軸を定め、それぞれの方針を設定。景観ゾーンは①里地景観②住宅市街地景観③商業地景観(成田駅周辺地区)④土庫地区・赤坂地区⑤工業地景観⑥成田国際空港周辺景観の6つにゾーニングし、景観拠点は歴史景観拠点を設定。それぞれに景観形成のイメージ、形成方針、色彩基準などを示した。

県コンクリート製品協同組合

千葉県コンクリート製品協同組合(花澤理事長)は、先月27日、千葉市内の組合会議室で「技術懇話会」を開き、認定工場審査結果報告会(第一部)と技術研修会(第二部)を実施した。第一部の認定工場審査結果報告会では、認定調査の授与式および報告会について「組合の看板事業として、とても重要である」と前置きしたうえで、「技術水準を下げないために工場を見直し、他社に負けないよう各企業に頑張ってもらいたい」と、当組合の信用にもつながる「と強調。『大変重要な審査であるため、引き続き努力して参りたい』との考えを示し、あいさつした。

認定品目として「千葉県型薄板及び蓋」は、1987年に県土木部(現・県土木整備部)が設計した施工管理の合理化を図るため、側溝及び側溝ふたの基本タイプを「千葉県型規格」として制定。その後、89年に深溝タイプの種類を追加し、99年に自動車荷重下25tの規格改正を経て現行規格とした。また「長尺U形」は、93年に県農林水産部により、施工管理での互換性や製造の合理化などを目的に規格化したもの。一方、「より良い品質のコンクリート製品を提供すること」を目標として社会に貢献する「品質目標に掲げる同組合では、これらの製品がJIS規格外製品であることから、品質の確保と均一化を図るため、千葉県型規格が制定された87年から「認定工場制度」を導入。当該製品の品質の向上と均一化を目的に、共同受注販売事業の一環として、技術委員会が品質管理状態及び製品を各工場で実地検査し、認定工場推進委員会が適格工場を自主的に認定するもので、良質製品の提供に努めてきた。

2013年度認定工場一覧表

認定番号	会社名	認定区分	認定品目			工場所在地	TEL
			千葉県型薄板	千葉県型側溝ふた	長尺U形		
2	花沢建材工業株式会社	EC	○	○	○	山武市松尾町借毛715	0479-86-3741
3	千葉製業株式会社	EC	○	○	○	山武郡横芝光町横芝1092	0479-82-1121
5	南三浦コンクリート工業株式会社	EC	○	○	○	南房総市明石100	0470-36-2150
8	千葉コンクリート株式会社	EC	○	○	○	いすみ市神前江場土2746-1	0470-87-3121
9	三洋コンクリート工業株式会社	NC	○	○	○	山武郡九十九里町片貝4025	0475-76-3331
15	平野コンクリート工業株式会社	EC	○	○	○	市原市牛久1084	0436-92-1561
17	小川建材工業株式会社	EC	○	○	○	匝瑳市新堀1464-48	0479-67-2365
18	ヤスミ建材工業株式会社	NC	○	○	○	君津市山本818-1	0439-35-3311
26	鶴花洋工業株式会社	NC	○	○	○	山武市松尾町大堤559	0479-86-2321
27	鶴テラコン株式会社	EC	○	○	○	富里市七栄533-47	0476-93-1181
39	日新コンクリート工業株式会社	EC	○	○	○	山武市蓮沼口の2120	0475-86-2611
46	洋一工業(イコノ)株式会社	EC	○	○	○	山武郡横芝光町横芝995	0479-82-8881
47	林建材株式会社	EC	○	○	○	山武郡横芝光町宮川16771-1	0479-84-3750
48	時田コンクリート工業株式会社	NC	○	○	○	市川市大野町4-2906	047-337-8848
49	小泉建材工業株式会社	EC	○	○	○	茨城県常総市鴻野山1090	0297-43-7492
50	共栄建材工業株式会社	EC	○	○	○	茨城県坂東市巾里1145-7	0297-35-7311
計			16	13	14		

※認定区分 EC: エコセメント製品 NC: ポルトランドセメント等製品

また、花澤技術委員長は、今回の認定結果について「日頃より品質管理を十分に行っていることが確認できた」と報告し、「今後でも社内教育や組合事業として実施している『試験・検査員研修会』を活用して頂きたい」と要請し、講評としました。この後、花澤理事長が認定工場16社に対し、認定証を交付したのに続き、第二部の技術研修会では、千葉建築設計の内野雅行理事長を講師に招き、「鉄筋コンクリートU型埋渠(B型)の設計計画書をテーマに、約1時間半にわたって講義を受けました。

給食整備指針案を策定

富津市 2期で共同調理場新設

富津市教育委員会は、市内にある学校給食共同調理場5か所が老朽化することにも、児童・生徒の減少など問題を抱えていることから、施設を統合を計画している。このほど、富津市学校給食施設整備指針案をまとめた。それによると、統合は計画の次の段階的に実施するため、期別に施設整備を行う方針。第一期として2016年4月までに富津小と飯野小の各調理場を大費共同調理場へ統合。第二期計画ですべての調理場を建設し、新規に調理場を建設する。新調理場は最大調理数4000食とし、総事業費は近隣市の事例等を参考に約13億円と算出している。新調理場は完全トライインシステムを採用し、危険分析重要管理点方式(HACCP)の考え方に準拠した施設とし、アレルギー食(可食)を限り対応することにも

富津市教育委員会は、市内にある学校給食共同調理場5か所が老朽化することにも、児童・生徒の減少など問題を抱えていることから、施設を統合を計画している。このほど、富津市学校給食施設整備指針案をまとめた。それによると、統合は計画の次の段階的に実施するため、期別に施設整備を行う方針。第一期として2016年4月までに富津小と飯野小の各調理場を大費共同調理場へ統合。第二期計画ですべての調理場を建設し、新規に調理場を建設する。新調理場は最大調理数4000食とし、総事業費は近隣市の事例等を参考に約13億円と算出している。新調理場は完全トライインシステムを採用し、危険分析重要管理点方式(HACCP)の考え方に準拠した施設とし、アレルギー食(可食)を限り対応することにも

千葉市 エースに耐震設計委託

外房有料と交差する3橋

千葉市は6月26日に開かれた入札で、お林橋外2耐震補強設計をエース(千葉)に決めた。委託期間は150日間、予定価格711万円で、お林橋は605万5000円(いずれも消費税を除く)だった。対象となる橋梁は、市道高田町156号線のお林橋、市道大木町25号線の水羽橋、市道板倉町6号線の水羽橋の3橋。緑区高田町地内ほかで、いずれも千葉外房有料道路と交差している。お林橋の橋長は32.6m、幅員は総幅員、有効幅員ともに5.4mで、上部構造はPCボス単純中空床。水羽橋の橋長は26.0m、幅員は総幅員、有効幅員ともに4.0mで、上部構造はPCボス単純中空床。水羽橋の橋長は30.0m、幅員は総幅員、有効幅員ともに4.0mで、上部構造はPCボス単純中空床。水羽橋の橋長は30.0m、幅員は総幅員、有効幅員ともに4.0mで、上部構造はPCボス単純中空床。

教室棟改築設計業務と、同じく来年度に工事を予定している小中学校8校の校舎及び屋内運動場耐震補強設計業務委託(富津55) ①方トウ建築事務所(千葉市中央区栄町10) ②2710万 ③14年3月3日④教室棟の一部(RC造)増築、延べ997㎡を建て替えるための基本設計及び実施設計 ⑤川間小学校管理・教室棟及び屋内運動場耐震補強設計業務委託(中里934) ⑥川トウ建築事務所(千葉市中区栄町36) ⑦2853万円 ⑧14年3月3日⑨管理・教室棟RC造3階建て、延べ2052㎡の耐震補強設計 ⑩清水台小学校特別教室棟耐震補強設計業務委託(清水773) ⑪協和コンサルタンツ(千葉営業所・千葉市稲毛区緑町1-26) ⑫1室棟補強設計 ⑬若小中学校管理・特別教室棟耐震補強設計業務委託(若小2112) ⑭松花建築設計事務所(松戸市南花島1-11) ⑮2635万円 ⑯14年3月3日⑰管理・特別教室棟RC造3階建て、延べ2052㎡の耐震補強設計 ⑰清水台小学校特別教室棟耐震補強設計業務委託(清水773) ⑱協和コンサルタンツ(千葉営業所・千葉市稲毛区緑町1-26) ⑲1室棟補強設計 ⑳事務所) 1131 14年3月3日 室棟RC造 990㎡ ⑰第一中 室棟補強設計 2911 (千葉営業所) 1321 3月3日 室棟RC造 2階建て 773 ⑱協和コンサルタンツ(千葉営業所・千葉市稲毛区緑町1-26) ⑲1室棟補強設計